

# H28年度 経営計画書

## 社会福祉法人 福知山学園

■ 社会福祉法人福知山学園は、今日まで児童福祉、障がい者福祉、高齢者福祉領域を中心とした事業経営を展開する中、法・制度に先駆け必要な事業体制の再構築を実行してきた。

■ また、自己変革のプロセスとして、「福知山学園改革プラン」を掲げ、地域の多様なニーズと真摯に向き合うことを自法人の使命として捉え、法人・事業所一体的な取り組みを進めてきた。

その挑戦は、児童発達支援センターや重度障がい者デイサービス事業等を包含した新生・むとべ翠光園開設へと結実し、早や2年が経過する中、確実に事業成果を蓄積しているところである。

■ さて、次なるプロジェクトである「FUKUGAKU バリューアッププラン」に関しては、みわ翠光園改築計画を中心に据えると共に、就労 A 型事業所の開設や地域拠点型施設開設による地域生活支援機能の再強化を図る総合プランである。

正に福知山学園の存在価値や魅力アップを図り、法人理念の具現化と法人経営の持続的経営のための基盤づくりを目指す一大プロジェクトプランでもある。

平成 28 年度については、多角的な情報収集やシミュレーションを進めると同時に、関係行政機関等との協議を加速化し、立ち塞がる課題を整理する中、プランの全体像を定め直し、進むべき道筋を着実に切り拓く年度にしていきたい。

■ 一方、社会福祉法人改革への対応が急務であるが、主要テーマである経営組織のガバナンス強化、経営の透明性向上、財務規律の強化等、社会福祉法人の自立経営強化や社会的ステイタス向上といった観点からは、全て必然的な改革であると受け止めるところである。

本改革の具体的施行は平成 29 年度からとなるが、評議員選定委員会の設置、定款変更案作成と認可申請、平成 28 年度会計監査を担う会計監査人選定＝平成 29 年度開始貸借対照表の監査受審、社会福祉充実計画策定・提出に向けた社会福祉充実残額(余裕財産)の算定(※平成 28 年度貸借対照表)等々、平成 28 年度内に準備・決定すべき事項は多い。

いずれにせよ、これら改革を脅威として捉えるのではなく、法人組織・経営基盤の強化への絶好の好機(チャンス)として確実な対応を実行していきたい。

■ 尚、人材の確保・育成が最重要課題となっているが、平成 28 年度は人事管理制度の再構築を完了し、やりがいと働き甲斐が感じられる組織、実践の蓄積と発信力の向上など、縦横に筋の通った組織づくりを意識し、法人理念の具現化をさらに推進していきたい。

■ 社会・経済の構造的変化により社会福祉そのものが益々普遍化している。

ソーシャルワーカーとしての専門的視点とスキルに磨きをかけ、ご利用者の笑顔のためチームアプローチを意識化すると共に、地域の安心と幸せづくりのため目に見える貢献を果たしていきたい。

■ そして、何よりも本法人に関わる多くの管理者・職員が、夢を語り、誇りと生きがいを感じ、思いやりと温かさをもとに協働し合える組織風土を醸成していければと考える。

# I 経営理念・ビジョン

## 1. 経営理念

～いのちいきいき。福知山学園～

『ご利用者の皆さんが、笑顔で生き生きと  
喜びのある日々を過ごして頂くことが私たちの喜びです』

### 1. オンリーワン支援

一人ひとりの無限の価値を認め、思いやりと細やかなサービスで生きがいある生活を支援します

### 2. 福知山学園ファン

トータルな福祉サービスで、ご利用者、ご家族、地域の方々に安心・信頼して頂き、適切な情報発信により福知山学園ファンを広めます

### 3. 活力あるチーム

経営理念、ビジョンを共有し、磁力ある目標をエンジョイ & チャレンジで実現します

## 2. 行動信条

私たち一人一人が感謝とハイよろこんで！の精神で日々の業務に取り組  
み、人間力と技術力を磨き幸せな人生を送ります

### 1. 肯定思考

- a. 常に感謝の気持ちを持ち、「ありがとう」と素直に言います
- b. 何事も自己成長のチャンスと考え、前向きに取り組みます

### 2. PDCA(計画⇒実行⇒反省⇒改善)

- a. 施設の年度目標を、チームの目標として具体化し、チームプレーの中で達成に向け努力します
- b. 行動する前に計画を立て、行動後に反省、改善し、行動レベルをアップします

### 3. 重要感表現

- a. 挨拶は人との出会いの第一歩です。自分から進んで笑顔で挨拶をします
- b. 聞き上手は、情報が得られるアンテナです。素直な心と態度で、会話の中の情報を見つけます
- c. 感謝の心は、人をつなぐ架け橋です。何事に対しても感謝の気持ちを持ち、“ありがとうの心”で人と接します

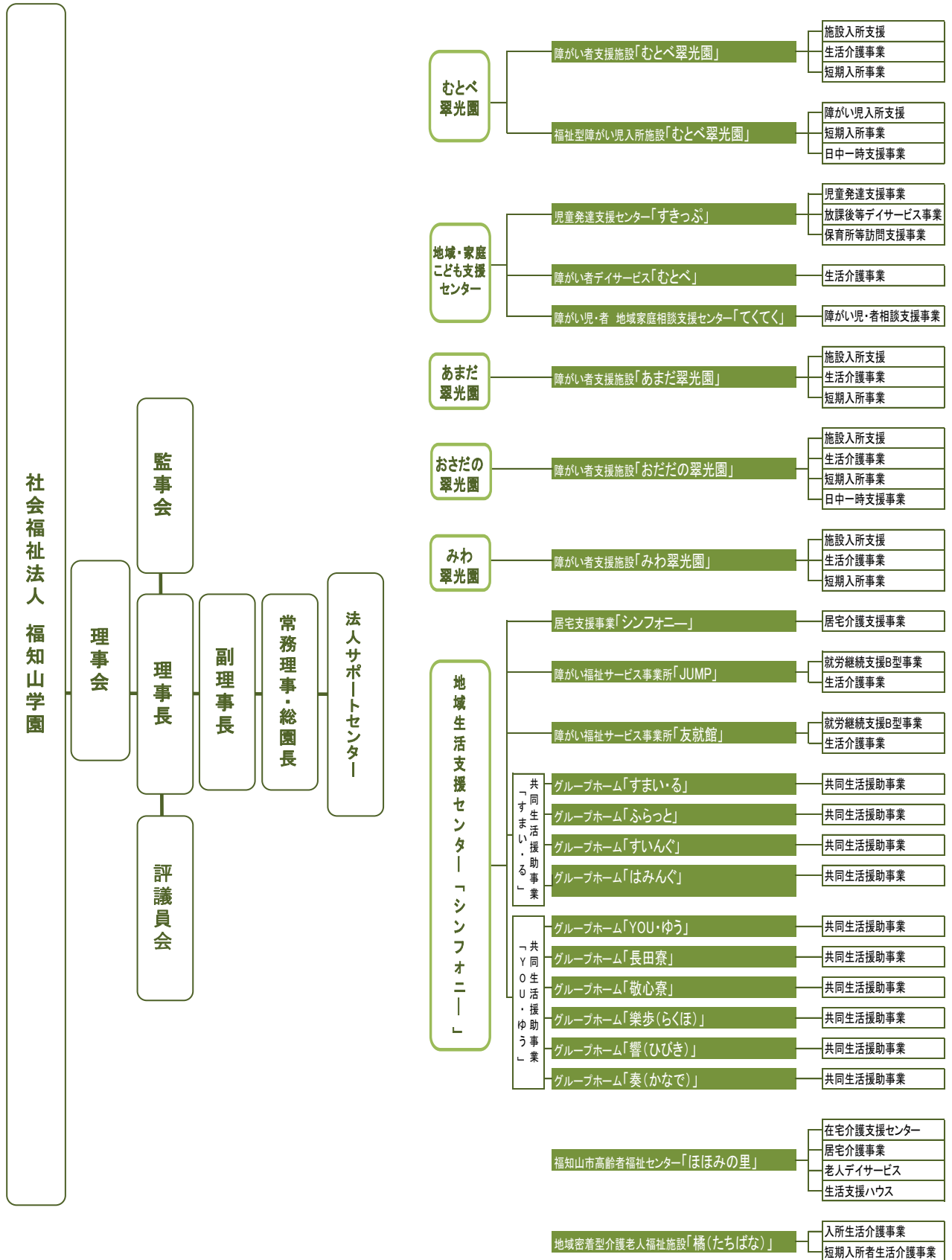
### 4. 報告・連絡・相談

- a. 確実な報告・連絡・相談を行い、チームプレーの向上を図り、質の高いサービスを提供します
- b. コミュニケーションの良い職場をつくり、互いの信頼関係を深めます

### 5. よい習慣づくり

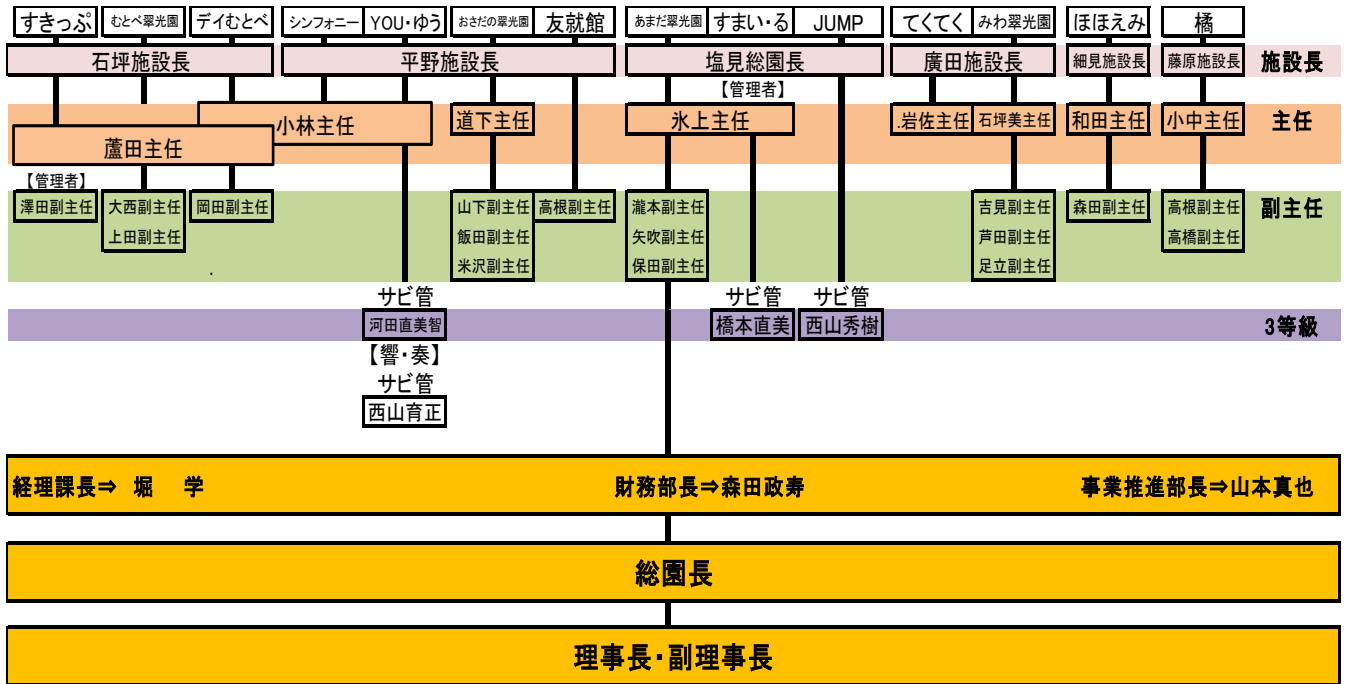
- a. 良い習慣を身につけ、実り多い人生をつくります
- b. 一度始めたことは、成果がでるまで継続します

## Ⅱ. 平成 28 年度 事業体系



# Ⅲ. 法人管理体制・委員会体制

## ◇法人管理体制◇



## ◇法人委員会体制◇

### <ワーク・ライフ向上委員会>

むとべ翠光園	あまだ翠光園	おさだの翠光園	みわ翠光園	シンフォニー	てくてく	ほほえみ	橋	就労部門	サポートセンター		
蘆田竜二	水上賢一	道下康志	石坪美聡	小林 学	岩佐将治	和田久美子	小中秀樹	高根直哉	森田政寿	山本真也	堀 学

### <各委員会>

委員長	RM委員会	研修委員会	人権委員会	広報委員会	栄養委員会	医務委員会	福知山学園PRチーム
	大西文生	足立昌昭	三森章司	瀧本拓也	佐藤多恵		畑田祥太
副委員長	森田直孝	保田昌美	上田朱美	西山育正	丸山陽子	奥村広子	
むとべ	大西文生	岡田宏徳	上田朱美	水谷幸浩	澤田千代子	長谷田美和子	出野 成
あまだ	矢吹智彦	保田昌美	上原裕一	瀧本拓也 細見昌人	石井万裕	藤雄木恵美子 田中亜由美	大西 晶
おさだの	飯田 修	米澤一美	山下晃生	岩見英樹	佐藤多恵	奥村広子 田中正子	今川有佳 【京都北部ブランドPT】
みわ	芦田文基恵	足立昌昭	三森章司	山内知輝	定森香奈	船木裕美	畑田祥太
ほほえみ	森田直孝	竹下範宏	岸上昌広	白橋征和	和泉華世	古川泰美	
橋	高根三千代				丸山陽子	新宅直美 田中久美子	
JUMP	西山秀樹		矢持雄二				
友就館							
シンフォニー							
てくてく							
すきっぷ	澤田誉子						

## IV. NEXT50 ～未来を拓く～

### — 50年先へ、10の約束 —

平成 21 年度計画策定	平成 27 年度までの実績	平成 28 年度 計画
1. こども保育施設を開設  ます。	平成 26 年 4 月 福知山市児童発達支援センター 「すきっぷ」開所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園事業計画（案）策定</li> <li>・施設内保育所（案）策定</li> </ul>
2. グループホーム 30 棟！ 入居者 200 人！ 重度対応型グループホーム も充実させます。	平成 25 年 12 月 重度対応型 GH 響・奏開所 [GH10 棟！] 長田地域：6 棟/三和地域：4 棟 [入居者合計 63 名]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FUKUGAKU バリュース アッププランにて検討</li> </ul>
3. 福知山市内だけでなく市外 でもサービスを提供しま す。	FUKUGAKU バリュース アップ プランにて検討中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズ調査</li> </ul>
4. 医療と福祉の総合サービス の提供をします。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集</li> </ul>
5. 就労継続支援 A 型事業所を 展開し、ご利用者平均年収 を 130 万以上にします	就労継続支援 B 型事業所 工賃 友就館 15,000 円 JUMP 7,000 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友就館 工賃向上計画実施中</li> <li>・就労 A 型事業所のニーズ調査 情報収集の事業計画（案）作成</li> </ul>
6. 児童入所施設を 50 年後も 継続します。	平成 26 年 3 月より 児童入所定員 20 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8 年目突入</li> </ul>
7. 地域の雇用と安定のために 職員数を 500 人にします。	平成 28 年 3 月 総職員数 370 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員配置計画の見直し</li> <li>・採用 PR 計画の策定と実践</li> </ul>
8. 幼児から高齢者までを包含 する総合社会福祉サービス の整備に努め、ご利用者・ 職員・ご家族を含めて福知 山学園ファン 5000 名を目 指します。	平成 26 年 4 月 すきっぷ開設に より、1 歳児～橘・ほほえみの里 高齢者サービスまで、どのライフ ステージのサービスにおいても提 供可能となった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足度調査の実施</li> <li>・関係者リストの作成</li> <li>・社会貢献活動の実践</li> </ul>
9. 法人内事業所でとられた、 おいしいお米と野菜の「レ ストラン」もしくは「お弁 当ショップ」を開店します。	FUKUGAKU バリュース アップ プランにて検討中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FUKUGAKU バリュース アッププランにて検討</li> </ul>
10. 介護福祉士、ホームヘルパ  ー（介護初任者研修）を育 成する専門学校を設置しま す。	平成 27 年 4 月より福知山市の民 間施設連絡協議会により、一般社 団法人として福祉専門学校を開 設。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年度 4 月開校。 みわ翠光園 廣田施設長が 初代理事長・校長として就任。 2 年目突入。</li> </ul>

# V. 現状分析

## 1. 法人運営 分析

	プラス要因	マイナス要因
内部環境	<p><b>S</b>trong(強み)</p> <p>S-1 新任職員ステップアップシステム による人材育成システムの確立</p> <p>S-2 職員資格取得の奨励・バックアップ</p> <p>S-3 法人内外におけるPRチームの活動</p> <p>S-4 地域ニーズに応える、セミナーの開催</p> <p>S-5 キャリアサポート、子育て世代等への 法人独自制度によるサポート制度の実践</p> <p>S-6 法人職員又、そのご家族も含めた 福利厚生策(永年勤続表彰)の取り組み</p> <p>S-7 事業拡大に伴い、他職種、多様な 勤務形態での職員採用</p>	<p><b>W</b>eakness(弱み)</p> <p>W-1 中堅職員(5年以上)に求める職責が曖昧</p> <p>W-2 役職者若年化によりキャリアパスが停滞</p> <p>W-3 等級毎の個別研修計画が不十分</p> <p>W-4 各会議・ミーティングの長時間化傾向</p> <p>W-5 職員の上位等級昇格への意識が希薄</p> <p>W-6 各事業所、職種別による有給消化率 と業務量がアンバランスである</p> <p>W-7 制度変更に応じた、柔軟な対応・ 分析が可能な人材育成の未確立</p> <p>W-8 職員のメンタルヘルス対応</p> <p>W-9 地域サービスの視点、取り組みの不足</p>
	外部環境	<p><b>O</b>pportunity(機会)</p> <p>O-1 社会貢献の義務化</p> <p>O-2 法人経営の透明性を高める為の 積極的情報開示</p> <p>O-3 高齢化社会としての地域ニーズ に応える在宅福祉の拡充</p> <p>O-4 各種認証制度及び 上位認証取得へのチャレンジ</p> <p>O-5 障害者雇用の促進を目指し、 就労分野における独自ブランド開発</p>

### ～ 1. 法人運営重要課題 ～

- (1) 地域ニーズに応える、社会貢献計画の策定と実施 [S-4×O-1]
- (2) 福知山学園魅力発信計画の策定と実施 [S-3・5×T-1]
- (3) 人事考課制度再構築とワークライフバランスの実践 [W-6×O-4]
- (4) 人材育成計画＝各階層・雇用形態別計画の充実 [W-3・5×O-4]
- (5) 衛生管理委員会の立上げと実践 [W-8×O-4]

## 2. 利用者支援 分析

	プラス要因	マイナス要因
内部環境	<p><b>S</b>trong(強み)</p> <p>S-1 創立 56 年の支援・介護の経験とノウハウ</p> <p>S-2 強度行動障害者特別支援による、 学習の機会とチームアプローチの実践</p> <p>S-3 相談支援事業所による在宅利用児・者のニーズ把握と在宅サービスの事業所との連携</p> <p>S-4 児童発達支援センター すきっぷ による 1 歳児からのサービス提供が可能</p> <p>S-5 作業療法士 実習受入による、 専門職・関係機関との連携</p> <p>S-6 法人委員会制度による積極的取り組み</p> <p>S-7 自前厨房による、状況に応じた 柔軟な食事提供</p>	<p><b>W</b>eakness(弱み)</p> <p>W-1 新規事業開設等に伴い、 初任者(5 年未満)が増加している</p> <p>W-2 勤務形態複雑化による職員間連携不足</p> <p>W-3 重度障害・高齢化による転倒リスクの向上</p> <p>W-4 職員接遇マナーの未熟</p> <p>W-5 キャリア不足による、個別支援計画策定 における視点の弱さ</p> <p>W-6 専門性の向上[職員増員による研修不足]</p>
	外部環境	<p><b>O</b>ppportunity(機会)</p> <p>O-1 地域に根差した運営により、地域の方からの協力体制・ボランティア参加</p> <p>O-2 高齢障害者支援の先駆的取り組み</p> <p>O-3 障害者虐待防止法 による人権意識の向上</p> <p>O-4 外部講師との連携による、 各専門職種、階層別研修の実施</p>

### ～ 2. 利用者支援重要課題 ～

- |                                  |               |
|----------------------------------|---------------|
| (1) 地域ニーズに応じた、FUKUGAKU バリューアップ計画 | [S-3×O-1・2]   |
| (2) 専門的支援スキルの蓄積・発信【事例発表研修会の実施】   | [S-2・5×O-4]   |
| (3) 地域福祉サービスの拡充                  | [S-3×O-4]     |
| (4) 組織力の強化                       | [W-1・2×O-4・3] |
| (5) 各施設安心・安全環境向上計画の作成            | [W-3×T-3]     |

### 3. 財務・経営分析

	プラス要因	マイナス要因
内部環境	<p><b>S</b>trong(強み)</p> <p>S-1 安定した経営の中で、 他職種・多様な雇用形態が可能</p> <p>S-2 社会福祉事業への再投下 (建設積立金)の計画的担保</p> <p>S-3 経営安定化資金 (人件費積立金)の計画的担保</p> <p>S-4 法人目標収支率 10%以上達成</p> <p>S-5 各施設在宅事業の稼働率向上</p> <p>S-6 人件費率 (法人全体) <u>64.2%</u></p> <p>S-7 事務費対比率(法人全体) <u>6.1%</u></p> <p>S-8 事業費対比率(法人全体) <u>13.3%</u></p> <p>S-9 事業活動資金収支差額 (法人全体) <u>16.4%</u></p>	<p><b>W</b>eakness(弱み)</p> <p>W-1 利用者の高齢・重度化為、 長期入院による稼働率の低下</p> <p>W-2 短期入所利用率の事業所間格差の是正</p> <p>W-3 3年・5年・10年の各スパンにおける 経営課題に対する達成計画を 盛り込んだ中・長期計画の策定</p> <p>W-4 人事考課制度の是正</p> <p>W-5 准職、パートの処遇改善</p> <p>W-6 計画的設備改修の推進</p> <p>W-7 資材、物品購入、調達方法の見直し</p> <p>W-8 コスト削減への取り組み推進</p>
	<p><b>O</b>ppportunity(機会)</p> <p>O-1 施設入所利用者の高齢化に伴う、高齢 障害者支援施設として先駆的实践</p> <p>O-2 障害者福祉充実計画策定義務による、 「FUKUGAKU バリュアップ計画」策定への 正当性</p> <p>O-3 社会福祉法人「経営情報」の公開が義 務化される中での、法人経営のさらなる 安定・透明性の打ち出し</p> <p>O-4 各種認証制度及び上位認証制度への チャレンジする中でのバリュアップ</p>	<p><b>T</b>hreat(脅威)</p> <p>T-1 全国的な福祉人材不足の状況</p> <p>T-2 突発的な建築物の修繕</p> <p>T-3 下降する入所施設報酬単価 と上昇する在学福祉報酬単価</p> <p>T-4 国の社会保障制度削減方針に伴う、 次期報酬単価マイナス改定への対策</p> <p>T-5 障害者総合支援法サービス単価と 介護保険法サービス単価の乖離</p> <p>T-6 社会福祉法一部改正による ガバナンス強化の問題</p>

### ～ 3. 財務・経営重要課題 ～

- |                            |               |
|----------------------------|---------------|
| (1)法人中・長期計画の見直し【3年・5年・10年】 | [W-3×O-2]     |
| (2)財務基盤の強化=「適正利益」確保        | [S-2・3×T-1・2] |
| (3)経営情報公開義務化によるバリュアップ      | [S-4×O-3]     |
| (4)通所部門・介護保険部門の安定的な経営      | [S-4・5×T-3・5] |



## VI. 2016 年度 重点施策と行動計

### 1. 法人運営 重点施策と行動計画

ファン作り	1-(1)	地域ニーズに応える、社会貢献計画の策定と実施		
	実行計画	FUKUGAKU オープンセミナーの開催	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①セミナープラン作成		
		②セミナー広報計画・準備		
		③集客人数 120人		
	責任者	てくてく センター長/サポートセンター		
	スケジュール	①平成28年4月～6月……プラン作成 ②平成28年7月～10月……広報開始・準備期間 ③平成28年11月 ……セミナー実施		
	実行計画	地域貢献活動の実施	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①地域の社会資源として、施設の開放		
		②地域の一員として、地域クリーンキャンペーン		
		③福祉体験・ボランティアの受入		
		④スタッフの派遣(講師・勉強会・セミナー等)		
	責任者	各施設長/サポートセンター		
	スケジュール	①③④平成28年4月～平成29年3月 ②平成28年4月～平成28年10月		
1-(2)	福知山学園 魅力発信計画の策定と実施			
実行計画	HPリニューアル実施	9月達成率	3月達成率	
目標数値	①法人HP再校正と情報開示リアルタイムでの活動報告の実施			
	②法人PRチームによる、職員採用に向けての魅力発信の実施			
	③各関係機関へのアウトリーチと魅力・情報発信の実施			
	④広報誌「すいこう」による、情報発信の工夫			
責任者	①②③サポートセンター・PRチーム ④広報委員会			
スケジュール	①②③平成28年4月～平成29年3月 ④1/M 検討会議実施			
活力あるチーム	1-(3)	人事考課制度再構築とワークライフバランスの実践		
	実行計画	人事考課マニュアルの再構築	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①新人事考課マニュアルの完成とシュミレーションの実施		
	責任者	人事管理委員会/サポートセンター		

活力あるチーム	スケジュール	4月:人事管理委員会にて検討開始(2カ月1回施設長会合同) 6月:各等級・職種職務要件と評価シートの作成 12月:マニュアル完成とシミュレーション【平成29年度 施行予定】		
	実行計画	職員労務環境の向上	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①有給消化率の向上[消化率90%以上]		
		②残業時間の軽減		
	責任者	サポートセンター 課長		
	スケジュール	平成28年4月～ [定期チェックの実施とデータ化]		
	1-(4)	人材育成計画 = 各階層・雇用形態別計画の充実		
	実行計画	各階層・雇用形態別研修計画の作成と実施	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①職員採用・育成計画の作成と実践		
		②法人内新任研修会⇒2回 [内1回は接遇研修含む]		
		③中堅職員研修会 ⇒1回		
		④管理職研修会 ⇒1回		
		⑤事務員接遇研修会 ⇒1回		
		⑥非常勤職員研修会 ⇒1回		
	責任者	研修委員会委員長・サポートセンター		
スケジュール	①平成28年4月～ ②…5月・7月 ③…1月 ④…9月 ⑤…7月 ⑥…8月			
1-(5)	衛生管理委員会の立上げと実践			
実行計画	衛生管理委員会の立上げ	9月達成率	3月達成率	
目標数値	①各事業所にて、衛生管理委員会[部会]の立上げ			
	②衛生管理者資格受験 [5名]			
	③ストレスチェック実施			
責任者	事業推進部長			
スケジュール	平成28年4月～			

## 2. 利用者支援 重点施策 行動計画

ファン作り	2-(1)	地域ニーズに応じた、FUKUGAKU バリューアップ計画の進行		
	実行計画	FUKUGAKU バリューアップ計画を進行させる	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①定期的な法人内協議の実施		
		②定期的な設計事務所との確認会議の実施		
		③定期的な行政協議の実施		
	責任者	財務部長・事業推進部長		
スケジュール	平成28年4月～			

オンラインワン	2-(2)	専門的支援スキルの蓄積・発信		
	実行計画	事例発表研修会計画と実施	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①各事業所の支援・介護事例報告書の作成		
		②法人内事例報告研修会計画と実施		
	責任者	研修委員会委員長・事業推進部長		
スケジュール	①平成28年4月～平成28年3月 / ②平成28年10月			
ファン作り	2-(3)	地域福祉サービスの拡充		
	実行計画	相談支援体制の強化	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①相談支援体制の再構築と業務分掌		
		②計画相談年間スケジュールの作成と実践		
	責任者	てくてく センター長		
	スケジュール	平成28年4月～		
	実行計画	ショートステイ・日中サービス(通所)提供の充実	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①対前年比3%up		
	責任者	各施設主任		
	スケジュール	平成28年4月～平成29年3月		
	実行計画	福祉サービスアウトリーチの実践	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①居宅介護サービス展開強化[契約者数UP]		
		②保育所等訪問の拡大		
責任者	①②事業管理者			
スケジュール	平成28年4月～平成29年3月			
活力あるチーム	2-(4)	組織力の強化		
	実行計画	京都府組織活性化プログラムへの参加による分析と改善	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①組織活性化プログラムアンケート分析による改善計画の立案		
		②帰属意識の向上[上位職への意欲向上]		
	責任者	財務部長・事業推進部長		
	スケジュール	4月⇒改善計画立案 / 5月～12月⇒実践 1月～アンケート実施 / 2月⇒アンケート調査実施		
	実行計画	法人 各委員会運営の強化	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①各委員会運営のPDCAの強化		
	責任者	各委員会委員長		
スケジュール	4月⇒年間計画実施 / 9月⇒半期評価・再計画実施 3月⇒年間評価・平成29年度年間計画(案)作成			

	実行計画	各会議・ミーティングの改善・活性化	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①目的を達成する会議の進行		
		②会議時間の短縮するための事前準備		
	責任者	③職員参画型オープンミーティングの実施		
		各施設主任・サポートセンター		
スケジュール	①②③⇒会議事前準備: 1. タイムテーブル 2. レジユメの作成 3. 事前意見徴収・・・等			
オンリーワン	2-(5)	各施設安心・安全環境向上計画の作成		
	実行計画	各施設(事業所)の利用者環境改善	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①(各施設[事業所])「安心・安全レベルアップ改修」の計画的実施		
		②施設改修(ハード面)整備計画の策定		
	責任者	各施設長・管理者		
スケジュール	①②平成 28 年⇒3 月整備計画(案)・スケジュール作成 ⇒4 月～スケジュールに沿っての計画的実施			

### 3. 財務・経営 重点施策 行動計画

オンリーワン	3-(1)	新規事業計画等、法人中長期計画の見直し【3年・5年・10年 Ver.】		
	実行計画	法人中・長期経営計画書 [FUKUGAKU バリュウアップ計画]の見直し	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①法人中期経営計画書[3年 Ver.]見直し・作成		
		②法人中期経営計画書[5年 Ver.]見直し・作成		
		③法人長期経営計画書[10年 Ver.]見直し・作成		
	責任者	(法人)財務部長		
スケジュール	平成 28 年 4 月～ 3 年 Ver. / 6 月～ 5 年 Ver. / 9 月～10 年 Ver.			
財務内容の安定	3-(2)	財務基盤の強化		
	実行計画	財務基盤の強化=「適正利益」確保	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①事業活動資金収支差額率 10%達成		
		②社会福祉事業再投下計画(建設積立金 積立計画)作成		
		③経営安定化資金計画(人件費積立金 積立計画)作成		
	責任者	(法人)財務部長・課長		
スケジュール	①平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月 ②③平成 28 年 4 月～平成 28 年 6 月			

ファン作り	<b>3-3</b>	<b>経営情報公開義務化によるバリューアップ</b>		
	実行計画	情報公開義務化を踏まえた、HPリニューアル計画	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①HPにて経営情報公開する中で、法人のバリューアップを図る		
		②HPにて経営情報公開する中で、新規採用者の安心材料とする		
		③広報誌 すいこう による情報公開をする中で、 地域の方への理解と安心材料とする		
	責任者	(法人)財務部長・事業推進部長・広報委員長		
スケジュール	①②平成28年4月～株式会社イー・ネットワークスとのHPリニューアル戦略会議の実施 ③平成28年4月～広報委員会 1/M の中で検討と実践			
財務内容の安定	<b>3-4</b>	<b>通所部門・介護保険部門の安定的な経営</b>		
	実行計画	各事業所の稼働率の維持・向上	9月達成率	3月達成率
	目標数値	①児童発達支援センター すきつぷ 75%		
		②デイサービス むとべ 99%		
		③ほほえみの里 デイサービス 90%		
		④地域密着型 介護老人福祉施設 橘 98.5%		
責任者	各施設長・管理者			
スケジュール	①②③④ 平成27年4月～平成28年3月			